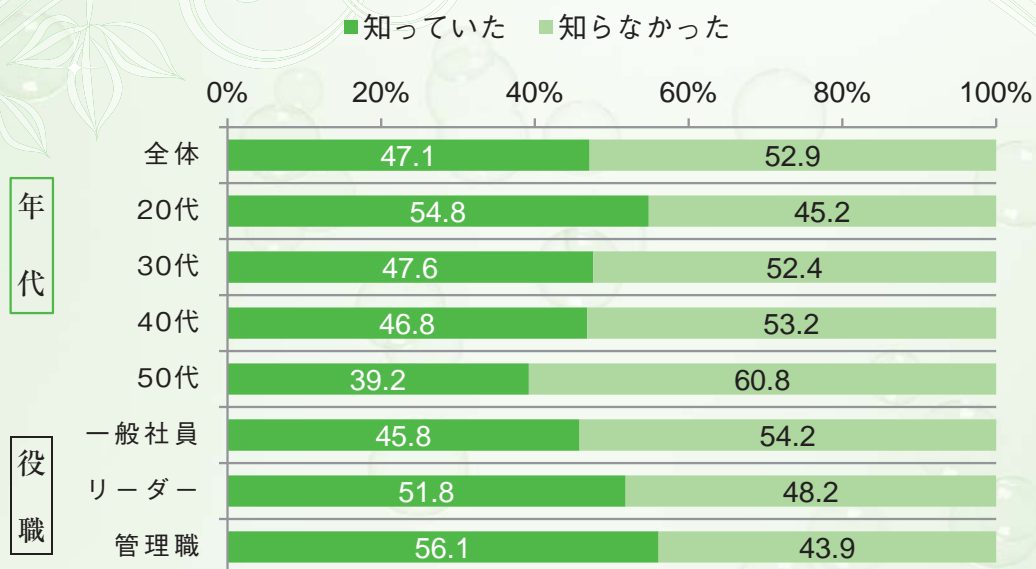


ウィルプラス

WILL PLUS No.88 2017

公益財団法人 あいち男女共同参画財団

いわゆる「LGBT」という言葉を知っていたか



出典：連合（日本労働組合総連合会）調べ「LGBTに関する職場の意識調査」（2016）

<https://www.jtuc-rengo.or.jp/info/chousa/data/20160825.pdf>

年代別では若い世代ほど認知率が高い傾向にあるが、役職別では役職が上がるほど高くなった。

特集 多様性を考慮した社会とは？

～社会で向き合うLGBT～ 1～2

団体紹介 3

ママ・ぷらす（あま市）

女性の活躍促進 わが社の女性管理職紹介コーナー 4

東邦ガス株式会社

名古屋工業大学

あいち国際女性映画祭2017 4

情報ライブラリー Book Cafe 5

デトックスウォーター～多様性を楽しむ～

女性の活躍促進サミット2016 6

リフレッシュ エクササイズ教室のご案内 6

ウィルおじさん 7

ウィルあいち案内 7

多様性を考慮した社会とは？

～ 社会で向き合うLGBT ～

最近よく目や耳にするようになった「LGBT」という言葉。職場や学校において、当事者はどんなことに悩み、苦しんでいるのでしょうか？また、私たちはどう接すればいいのでしょうか。様々な個性を持った人が皆自分らしく生活するための考え方を、市川武史さんにお伺いしました。

■ 認知の広がり

数年前から「LGBT」という言葉を耳にするようになり、2016年はこの東海地区においても三重県伊賀市でパートナーシップ宣誓制度を開始、岐阜県関市はLGBTフレンドリー宣言をするなどLGBTに関連した様々な話題をテレビ、新聞、雑誌などで毎日のように目にするようになりました。

■ セクシュアリティはグラデーション —性別は男性と女性の2つだけ？—

セクシュアリティは身体の性、心の性、表現する性、好きになる対象の性の4つの要素で構成されており、グラデーションで表現されます。こう考えると、性別を「男性」と「女性」の2つに分けきることは難しいことだと思います。

そのため、ウェブ上の会員登録画面では、男性、女性以外に「その他」という選択肢を設けている事例が増えています。また一部の企業、団体などでは採用活動において、エントリーシートから性別記入欄を削除したり、「その他」の選択肢を設けています。

■ 見えない存在になっているLGBT

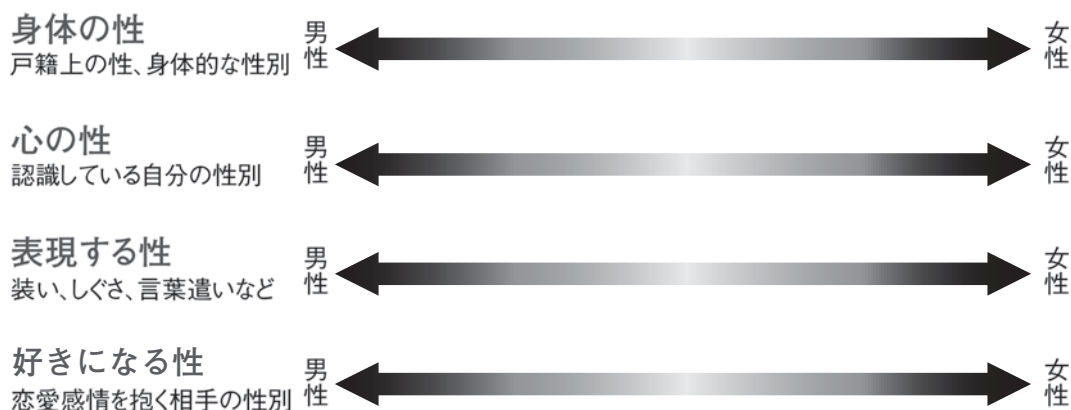
LGBTの割合・数については、日本の人口の約7.6%で(電通ダイバーシティ・ラボ調べ)、約900万人、13人に1人が該当すると言われています。この数字は、神奈川県の人や左利きの人、AB型の人と同じくらいの割合で、私たちの周りに当たり前のよう存在していると言えます。

ところが、「私の周りにはLGBTの人は存在しない」と言われる方がまだまだ多い状況です。

多くのLGBT当事者は「自分のことをオープンにしたら職場・学校にいられない」「本当の自分のことを話したら、友達や親から嫌われてしまう」と不安に思い、異性愛者のふりをするなど、生きづらい環境で生活をしています。

そのような理由から、本当は普段接している友人や一緒に働いている同僚がLGBT当事者であったとしても、「目に見えない存在」になっていることが、LGBTの課題の難しいところです。

セクシュアリティはグラデーション



■ 自殺率が高いLGBT児童・生徒への配慮

「目に見えない存在」になっていることにより、近くに仲間がいたとしてもその存在に気づくことができず、孤立して悩んでいる人が少なくありません。

本当の自分として過ごすことができないということから、自己肯定感が持てず、自殺念慮を抱いたことのある人が約6割いるということや、中学生～高校生にかけてその割合が高まるということも分かっています。

そのため、教育現場においては、よりLGBTに関して正しい情報を発信していくことが大切だと考えられます。

■ 就活生が関心を持つ「企業におけるLGBTの取り組み」その意味とは

当社でサポートをしている企業の担当者によると、企業説明会で学生から「まだLGBTに関する取り組みをしている企業はあまりない中で、どうして取り組みを進めているのでしょうか」という質問があり、他の学生も熱心にメモを取っていたそうです。

このことから、就活生が、LGBTへの取り組みを「誰もが働きやすい環境づくりを行っているかどうか」の一つのベンチマークにしていることが考えられます。

■ LGBTに優しい社会。LGBTのためだけに必要なことなのか。

相談窓口には、LGBT当事者から「職場で差別的な言動があり、働きづらい」という相談が多くあり、また、あるNPOの調査によるとLGBT当事者の6割近くが「職場でLGBTに関する差別的な言動を受けた」と回答しています。

以下、LGBT当事者が差別的だと感じる会話をご紹介します。

- ・なんで結婚しないの？
- ・あの年で独身ってこっちゃじゃない？
- ・あの人、男(女)なのに女(男)みたい。

これらの言葉には、LGBT当事者ではなくても、傷つく人や不快に思う人が存在します。LGBTにとって過ごしやすい社会というのは、誰もが過ごしやすい社会に繋がります。

■ 人はみんなマイノリティ

私たちが社会的課題について論じるときには、どうしても「LGBT」にフォーカスを当てて話をする必要がありますが、セクシュアリティは私たちを構成する要素の一つでしかありません。

そもそも、私たちは人種、国籍、障がい、宗教、信条、性別、年齢、出身地、性自認、性的指向、価値観、働き方など「多様な個人」を内包する生き物であり、人は誰もマイノリティといえるのではないのでしょうか。



いちかわ たけし
市川 武史 さん

on the Ground Project(オンザグラウンドプロジェクト)代表。

1982年愛知県生まれ。大学在学中に新聞社にて記者として活動。紙面の企画や、取材、原稿執筆を行い、LGBTの特集を中心に、経営者、作家、政治家などの取材を行う。大学卒業後、Web制作会社にて営業/ディレクターとして勤務。Web制作会社に在職中は、「仕事のご縁を頂きたい人について徹底的に調べて、手紙やメールでアプローチする」考え方・営業手法が注目され、NHK「めざせ！会社の星」にて紹介される。

現在は、コンサルタント/プロモーターとしての経験、LGBT当事者としての体験を活かして、on the Ground Project(オンザグラウンドプロジェクト)を立ち上げ、LGBTが働きやすい環境づくりとLGBTに関する企業のプロモーション、講演活動を行っている。

■ 研修実績

デンソー、RIZAP、中部電力、丸井グループ、(ピリギヤルで有名な)坪田塾、(アクセンチュアとマイクロソフトの戦略的合併会社)アバナード、岐阜県関市、三重県、岡崎ビジネスサポートセンター OKa-Biz(オカビズ)、伊藤美藝社製版所、アイビーネット、アスモ少額短期保険、G-net(ジーネット)、プレジャー企画、大橋運輸、シャント、IWPA国際ウエディングプランナー協会など



このコーナーでは、県内で活躍する団体にスポットを当て、その活動をご紹介します。
今回は、「ママ・ぷらす（あま市）」をご紹介します。

「ママ・ぷらす（あま市）」

■ 設立目的及びこれまでの活動目的について

「子育てママに、第三のライフスタイルを」を理念に掲げ、H16年に活動開始。H18年に法人化。

子どもを預けて働か、家庭で育児に専念するかの二択だけでなく、ライフスタイルの多様化を提唱し、推進してきました。あま市を拠点に、愛知県西部を中心にママがより自分らしく、子育てを楽しめる環境作りを目指し活動しています。

※受賞等

H21年 住友生命「未来を築く子育てプロジェクト」
未来大賞および内閣府特命担当大臣賞受賞

H27年 読売新聞社「第9回よみうり子育て応援大賞」
大賞受賞

H28年 内閣府「子供と家族・若者応援団表彰（子育て・家族支援部門）」特命担当大臣表彰

■ 今年度の活動状況について

1. 主催事業

- ・親子ふれあい交流会（参加無料）…年間60回開催
- ・チャリティイベント…東日本大震災発生時より、ほぼ毎年開催
過去5回の寄付総額 1,459,763円
- ・教室運営…託児付きのヨガやエクササイズ、親子英会話、キッズダンスなど
育児中のママ講師を積極的に起用
- ・託児事業…託児ボランティアスタッフを養成し、託児グループを運営



親子ふれあい英会話教室の様子

2. 受託事業

- ・あま市・大治町広域ファミリー・サポート・センター事業

- ・近隣市町の社会教育講座、高齢者向け講座、託児など（受託事業のスタッフや講師にも、子育て中のママを優先的に起用）

3. 助成金事業

H26年より【キッズ防犯プロジェクト】と題して、子どもたちを誘拐や連れ去りなどの犯罪から守るための活動を開始。モリコロ基金、麒麟福祉財団などからの助成金を活用していますが、今後の継続事業化に向けて取り組んでいます。

4. その他

代表の川原による講師活動。「子どもの自己肯定感を育むコミュニケーション」「女性が輝くまちづくり」など。

■ 団体としての課題について

これからも自分たちが信じる活動をコツコツ積み上げていくことの大切さと同時に、周囲から期待される役割を担っていく責任も感じています。その二つをリンクさせることで、相乗効果を生み出せるのではないかと考えています。

■ 今後の目標や活動の展開について

育児中のママたちの社会参加や、能力を生かす機会を、地域貢献やまちづくりの場につなげていきたいと考えています。育児中は、社会福祉や地域環境への関心を強める時期でもあり、また、生活の多くを居住地域で過ごす時期でもあります。育児中の女性の多くは、地域貢献やまちづくりに携わる適性を備えているのではないのでしょうか。

現在取り組んでいる【キッズ防犯プロジェクト】が、そのモデル的な活動となり得る可能性も期しています。



チャリティイベントのスタッフと出演者の集合写真

問い合わせ先：ママ・ぷらす

代表 川原史子

公式ホームページ <http://mama-plus.com>

女性の活躍促進 わが社の女性管理職紹介コーナー

東邦ガス株式会社

当社は、男女等しく、社員一人ひとりがやりがいを持って活躍できる会社を目指しています。その実現に向けて、全社員の意識醸成に加え、「女性本人」「管理者」「制度」を三本柱とし、意識啓発や環境整備に取り組んでいます。



リビング計画部
マーケティンググループ
リベナスショールーム所長
久米むなみさん

ショールーム・料理教室にお越しになるお客さまは女性を中心であるため、女性ならではの視点が重要です。例えば、単純にガスコンロを見てもらうのではなく「ガスコンロの人気投票」などイベントとして、楽しみながら商品の違いを理解していただいたり、商品の機能やスペックの訴求だけでなく、それによってもたらされる暮らしの変化を提案したりする等、できるかぎり女性自らの発想で企画を立案するよう心掛けています。

職場のメンバーは、全員女性で、一人ひとりに主担当として業務を任せ、やりがいや達成感を感じてもらっています。また、メンバー全員がワーク・ライフ・バランスを実現できるよう、日ごろからメンバー同士で助け合えるチームづくりを行いつつ、自らがリーダーシップを取り、「女性社員活躍のモデル職場」となることを目指しています。

名古屋工業大学

本学では、平成26年度に男女共同参画推進センターを発足し、女性の活躍推進に向けて女性研究者のライフイベント及びワーク・ライフ・バランスに配慮した研究環境の整備や学内の意識啓発等、積極的に取り組んでいます。



国際企画室・室長
竹内富貴子さん

気がついたらずいぶん長い間働いている、というのが実感です。決して特別なことをしてきたわけではありませんが、とにかくやってみるという姿勢で仕事に取り組んできたと思います。結果的にはできないことも多いのですが、行動しないと何も進みません。組織全体のことや他部署の業務など、知らないことが多いので、その時々学ぶことは非常にたくさんありますし、過去に学んだことや経験したことが後の業務の役に立つことも多々あります。

また、家族や職場の方々の理解があってこそ働き続けられると思っています。お互い様という気持ちを持って、それぞれの場面で助けられたり助けたりしながら働いていただきたいと思います。社会制度の整備や社会全体の意識の変革を待ちながら、全ての人々が自然体で働ける世の中になればよいと思っています。

「あいち国際女性映画祭2017」の開催に向け、次の募集を行っています。

- ポスター及びパンフレット表紙として使用するデザイン画 (賞金5万円)
- フィルム・コンペティション作品
 - (1) 長編フィルム部門 グランプリ 「金のコノハズク賞」 (賞金30万円)
 - (2) 短編フィルム部門 グランプリ 「金のカキツバタ賞」 (賞金20万円)
 - 準グランプリ 「銀のカキツバタ賞」 (賞金10万円)
 - 観客賞 (賞金3万円)

詳細は、下記公式サイトをご覧ください。たくさんのご応募をお待ちしています！

(公財) あいち男女共同参画財団 <http://www.aichi-dks.or.jp> あいち国際女性映画祭 <http://www.aiwff.com>

情報ライブラリー-Book Cafe

デトックスウォーター～多様性を楽しもう

ライブラリーBookCafeにやって来たウィルおじさんとあい子さん。

あい子さん 「この新メニュー何だろう。デトックスウォーター？」

おじさん 「あ、それ、ミネラルウォーターに好きな果物や野菜を入れて作るんだよ。身体にいいって、今人気なんだって。」

あい子さん 「そうなの。あら、いっぱい種類があって迷っちゃう。」

おじさん 「人気といえば、職場で人気の『ダイバーシティ』って知ってる？」

あい子さん 「時々聞くけど、意味は、実はよく知らないわ。」

おじさん 「多様性っていう意味なんだ。同じ職場の仲間でも、男性・女性、正規か非正規か、若いかなか、既婚か独身か、子どもがいるかない…いろいろな事情や個性があるよね。その多様性を受け入れていくことが、企業や組織のこれからにつながるんだって。」

あい子さん 「このメニューみたいに、いろいろな違いがあって当たり前、それを楽しむってことね。さて、どれにしようかな？」



働く人、働き方、生き方が多様化する現在。情報ライブラリーの本で、あなたも多様性を活かすダイバーシティを楽しんでみませんか。

●多様性を活かすダイバーシティ●

『この1冊でポイントがわかるダイバーシティの教科書』

前川孝雄ほか著（総合法令出版）

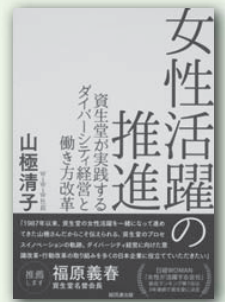
女性、若手、シニア、派遣社員、障害者、性的マイノリティ、外国人などの多様な人材を取り上げ、これらの人々の違いを認め、価値観を知り協働することが人材育成と組織の変革・成長につながると解説する。



『女性活躍の推進 資生堂が実践するダイバーシティ経営と働き方改革』

山極清子著（経団連出版）

これからは女性をはじめとした多様な人材の活用が不可欠。その先頭を走る資生堂で、ダイバーシティ経営に向けた意識改革・行動改革と女性の活躍推進を実践してきた著者が、その具体的な取り組みを紹介する。



『子育て社員を活かすコミュニケーションイクボスへのヒント集』

山口理栄、新田香織著（労働調査会）

子育て中の社員を部下に持つ管理職に向けた研修をベースにまとめた本。職場での無用な誤解や混乱を避け、チーム全体が助け合える関係を作るためのコミュニケーションのヒントを紹介する。



『職場のLGBT読本 「ありのままの自分」で働ける環境を目指して』

村木真紀ほか著（実務教育出版）

性的マイノリティと気持ちよく働く職場づくりのための、初のハンドブック。LGBTをめぐる職場環境の現状、職場で抱える課題、先進企業の取り組み事例、当事者やともに働く人の具体的な声など、LGBTと職場の問題を広く取り上げる。



問い合わせ先 ウィルあいち情報ライブラリー 電話 052-962-2510

あいち女性の活躍促進サミット2016

平成28年12月21日、メルパルク名古屋で前年に引き続き「あいち女性の活躍促進サミット2016」が開催されました。

第1部では、愛知県が今年度創設した「あいち女性輝きカンパニー」優良企業の表彰式が行われ、受賞した4社に大村愛知県知事から、あいち認証材を使用した木製賞状とトロフィーが贈呈されました。

第2部では、「ダイバーシティは戦略だ」と題して、(株) LIXILグループ執行役副社長の八木洋介（やぎようすけ）氏による基調講演が行われ、八木氏がLIXILで取り組まれてきたダイバーシティに向けた施策を始め、企業側の変革の重要性について、力強くお話しされました。

第3部では、「女性の活躍が企業を強くする！」をテーマとしたパネルディスカッションにて、V字経営研究所代表取締役社長の酒井英之（さかいひでゆき）氏をコーディネーターに迎え、表彰企業をパネリストに、取組事例の発表や女性の活躍推進に向けた取組のポイントなどについて意見交換が行われました。

【「あいち女性輝きカンパニー」優良企業表彰企業】

- 常時雇用する労働者数301人以上の部（50音順）
 - ・中部電力株式会社（名古屋市東区 電気事業）
 - ・東海東京証券株式会社（名古屋市中村区 金融商品取引業）
 - ・トヨタ自動車株式会社（豊田市トヨタ町 自動車製造業）
- 常時雇用する労働者数300人以下の部
 - ・株式会社カノークス（名古屋市西区 鉄鋼専門商社）



問い合わせ先：愛知県県民生活部男女共同参画推進課
 電話 (052) 954-6178 <http://www.pref.aichi.jp/danjo/jokatsu/>

リフレッシュ

エクササイズ教室のご案内

**無料体験
実施中!**

働く女性のための 3R教室

<対象> 女性

簡単なエアロビクスや、ボールを使用した運動など、心身のリフレッシュ、身体のゆがみやこりを解消して自分磨きをしましょう。

Aコース	火曜日	10:00～11:15
Bコース	水曜日	10:00～11:15
Cコース	木曜日	18:30～19:45
Dコース	土曜日	15:30～16:45
料金	2,800円 (1期 4回分)	

パパと遊ぼう！ 子育てスキンシップ教室

<対象> 園児年少～小学3年生になる

子どもとその保護者（原則として父親）親子でさまざまな道具を使用したスキンシップ運動を行います。また、子どもたちだけの、跳び箱や鉄棒などを使用した体力づくりプログラムも行います。

Aコース	木曜日	15:30～16:45
Bコース	土曜日	10:00～11:15
Cコース	土曜日	13:30～14:45
料金	2,500円 (1期 4回分)	

女性のための ウェルエイジング教室

<対象> 40歳以上の女性

ストレッチで全身の筋や腱を伸ばし、また音楽に合わせて、自分のペースで楽しく運動できます。心身ともに健康的な身体づくりをしましょう。

Aコース	火曜日	13:00～14:15
Bコース	水曜日	13:00～14:15
Cコース	木曜日	13:00～14:15
Dコース	金曜日	10:00～11:15
料金	2,800円 (1期 4回分)	

■各教室年間10期(1期につき4回)。*開催日についてはお問い合わせください。■開催場所:ウィルあいち フィットネススタジオ(愛知県女性総合センター)



問い合わせ先

(公財) あいち男女共同参画財団 総務情報課
 ワーク・ライフ・バランス推進事業担当
 〒461-0016 名古屋市東区上笠杉町1番地
 電話：(052)962-2505

ウィル おじさん

絵:ナハ



編集後記

今回の「ウィルプラス」はいかがでしたか? あなたのご意見・ご感想を(公財)あいち男女共同参画財団企画協働課までお寄せください。

「ウィルプラス」は、県内の図書館や女性センター等で配布しています。ホームページからもご覧いただけます。また、定期読者も募集しています。詳しくは電話でお問い合わせください。

愛知県女性総合センター (ウィルあいち) のご案内

開館時間 9:00 ~ 21:00

■情報ライブラリー利用時間 9:00 ~ 19:00

休館日 年末年始(12月29日~1月3日)、施設点検日(年10回程度)

■情報ライブラリー休業日

上記の他、毎週月曜日(祝日の場合は翌日も休業)、祝日(土日は除く)、整理期間

所在地 〒461-0016 名古屋市東区上豎杉町1番地

問合せ先 <http://www.will.pref.aichi.jp/>

■施設利用受付 指定管理者 コングレ・愛知グループ
(ホール・会議室・宿泊室)

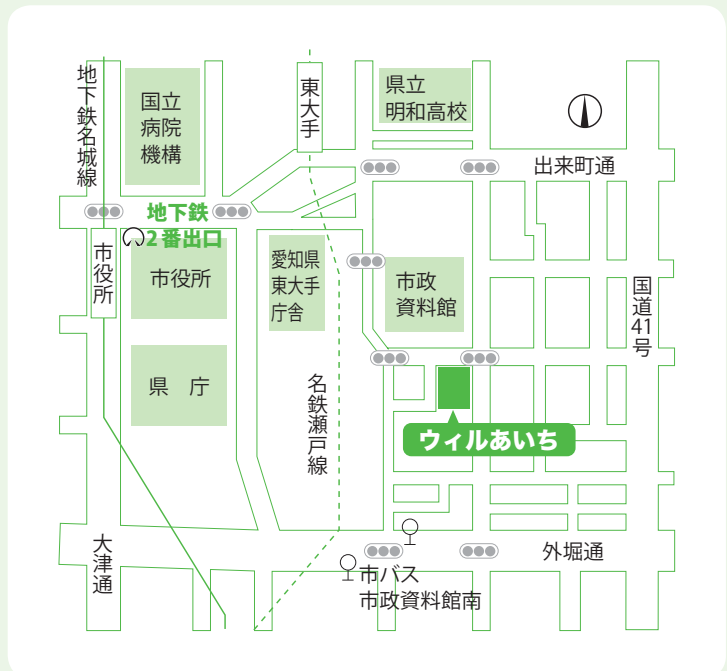
電話 052-962-2511

■情報ライブラリー

電話 052-962-2510

[交通のご案内]

- 地下鉄名城線「市役所」駅2番出口東へ 徒歩約10分
- 名鉄瀬戸線「東大手」駅南へ 徒歩約8分
- 基幹バス、名鉄バス「市役所」下車東へ 徒歩約10分
- 市バス幹名駅1「市政資料館南」下車北へ 徒歩約5分
- 駐車台数に限りがありますので公共交通機関の利用にご協力ください。
(駐車場有料)



ウィルプラス No.88 2017

編集・発行	公益財団法人あいち男女共同参画財団
住所	〒461-0016 名古屋市東区上豎杉町1番地 (愛知県女性総合センター内)
電話	052-962-2512 (企画協働課)
F A X	052-962-2477
財団HP	http://www.aichi-dks.or.jp
発行	平成29年3月(年3回/次号:29年7月発行予定)